

現行の「市政改革の基本方針」に基づく取組等

取組項目1

【歳出の削減】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	(趣旨・目的) 効率的な行財政運営により、経常経費の削減をめざす。 (取組の概要) 庁舎の維持管理運営経費及び一般管理経費について、継続的な節減をはかる。IT経費についても、市方針をふまえ節減をはかる。 (目標) ・庁舎維持管理運営経費・一般管理経費について、毎年度対前年度比減の達成 ・IT経費について、現在の契約額以下の達成		(取組の内容) ・光熱水費 照明の点灯箇所減の継続、LED化の推進 ・備品・消耗品等 一括購入や安価な商品の選択 在庫の管理方策の実施 ・さらなる経費節減に向けた検討を行い、できるものから順次実施する。 (目標) 庁舎維持管理運営経費・一般管理経費について、対平成27年度決算額以下の達成

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況			課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	【取組実績】 ・光熱水費の削減(対前年度▲300万円、▲13.2%) 照明のLED化や空調稼働フロアの節約等による減 ・施設設備の修繕等 【目標達成状況】 庁舎維持管理運営経費・一般管理経費については、施設・設備の老朽化等による修繕などにより、前年度を下回ることができなかったが、光熱水費や事務費等の節減に取り組むとともに、来庁者の満足度向上に向けた施設設備の修繕を行った。 IT経費についても、リース2年目から必要となるソフトウェアライセンス料により経費増となった。			・施設の老朽化等による修繕費やソフトウェアライセンス経費の増嵩等により、目標は未達となったが、節減可能な光熱水費や消耗品等の事務費は大幅減となった。 ・引き続き、庁舎維持管理運営経費や一般管理経費の節減を図る。

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目2

【基礎自治にかかる施策・事業の再構築】★

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容
	(趣旨・目的) 基礎自治にかかる施策・事業についての決定権の局からの移管を受け、配分される予算枠の範囲内で、地域の特性・実情に即した施策・事業の再構築を行う。 (取組の概要) ・施策・事業の必要性を点検し精査する。 ・市方針をふまえ、補助金等の見直しや市民利用施設のあり方検討、業務フローの最適化、新公会計制度活用を進める。 (目標) 毎年度計画的に施策・事業の点検を実施		(取組の内容) ・自律した区政運営の展開に向け、PDCAの徹底を図ることを目的に、独自の事業評価の取組「PD“L”CAサイクル」を活用し、事業の再構築に向け全事務事業の再点検を実施する。 ・市方針をふまえた検討。 (目標) PD“L”CAサイクルによる点検 年1回

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況			課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	【取組実績】 予算策定時に、「PD“L”CAサイクルに基づく事業の方向性等の判断基準」を導入し、区民の声を事業の方向性(拡大・継続・縮小・廃止)の判断に、より統一的、体系的に反映したうえで、予算を策定。 【目標達成状況】 PD“L”CAサイクルによる点検:年1回			—

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目3

【未収金対策の強化】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) 歳入を確保するため未収金対策に取り組む。 (取組の概要) ・国民健康保険料収納率の向上 ・介護保険料収納率の向上 ・母子・寡婦福祉貸付金償還率の向上 (目標) 市全体の目標収納率を上回る収納率を確保及び毎年前年度以上の償還率の向上	(取組の内容) ・収納率向上に向け、新規加入者に対する口座振替の原則化や納付督促等を実施 ・償還率向上に向け、口座振替の原則化や督促状送付等を実施 (目標) ・市全体の目標収納率を上回る収納率を確保 国民健康保険料 平成28年度目標収納率 91.30% 介護保険料 平成28年度目標収納率 98.00% ・前年度以上の償還率の確保 母子父子寡婦福祉貸付金

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	・国民健康保険料について 【取組実績】 国民健康保険料の収納率向上に取り組んだ。 【目標達成状況】 ・3月末時点における口座加入率は全市平均を4.85ポイント上回る。(天王寺区51.75%、全市平均46.90%) ・3月末時点の収納率は全市平均を2.61ポイント上回る。(天王寺区87.57%、全市平均84.96%) 介護保険料について 【取組実績】 新規および随時の口座振替の勧奨、第1次から第3次にわたる特別収納対策及び区独自対策を実施 【目標達成状況】 平成29年2月末 大阪市97.53% 前年度同月比+0.17 区収納率98.17% 前年度同月比+0.08 市全体の目標収納率98%を上回る収納率を確保できる見込みである。 母子・寡婦福祉貸付金について 【取組実績】 ・10～2月の償還促進月間では、滞納者(回収委託者を除く)の内返済状況の悪い者(文書連絡するも返答なし、分納誓約不履行)に対し、返還通知を送付(借受人23名、連帯保証人19名、貸付件数32件分)。 ・確定延滞金の発生を確認次第、請求者(経済的に困窮し元金の返済もままならない旨相談を受けた者を除く)に延滞金納付書を送付し納付勧奨(貸付件数12件分)。 ・借受人や連帯保証人が来庁、または電話連絡を受けて納付交渉を行った結果、平成28年度末時点で2名が滞納解消、4名が完納した。その他、3名より分納誓約を受理した。 ・平成28年度末時点での完納件数は、全14件(滞納貸付件数89件中)となった。 【目標達成状況】 <償還率> H28.03末 母子 58.8% 寡婦 90.0% H29.03末 68.3% 96.6%	①	—
①:目標達成 ②:目標未達成			

取組項目4

【歳入の確保】★

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容	
	(趣旨・目的) 効率的な行財政運営を行うために、歳入のさらなる確保を図る。 (取組の概要) ・講堂利用など行政財産の目的外使用料収入の確保 ・広告料収入の確保 ・クラウドファンディングなど寄附金収入の拡大 (目標) 毎年度前年度以上の歳入の確保		(取組の内容) ・公園施設や駐輪場等の区内本市施設を活用した広告事業の拡充 ・講堂等の目的外使用許可による貸出の推進 ・区庁舎を利用した結婚式の推進 ・広告事業推進に係る広告代理店の活用 ・天王寺区サポーター寄附金の推進 (目標) 1,000万円の確保(平成28年度)	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策	※左記が「②」の場合は必須
自己評価	【取組実績】 広告取扱事業者を活用し、広報紙等既存の広告媒体の収入増に取り組むとともに、新たな媒体としてのネーミングライツ等にも取り組んだ。また、庁舎の目的外使用許可に関しても、区民の利便性も勘案した証明写真機や飲料自販機の追加設置、講堂等の貸出に取り組んだ。	①	—
	【目標達成状況】 こうした積極的な取組の結果、目標を大幅に上回る1,180万円の収入を確保した。(対前年度280万円増)		
	①:目標達成 ②:目標未達成		

取組項目5

【組織的・自律的な区政運営】

計画	取組の方針・目標内容		当年度の取組内容	
	(趣旨・目的) 区民に信頼される区政運営をめざす。 (取組の概要) ・内部統制体制に基づく区政運営 業務の有効性・効率性の確保 コンプライアンスの確保 財務報告の信頼性の確保 資産の保全 ・説明責任と透明性の確保 ・市方針をふまえたICTの推進 (目標) 毎年度計画的に実施		(取組の内容) ・内部統制連絡会議をふまえた取組の実施 ・服務規律確保推進委員会をふまえた取組の実施 ・施策プロセスや庁内会議等の見える化 ・区広報紙やSNS等を活用した効果的な情報発信 ・市方針をふまえたオープンデータ等の取組の推進 (目標) 適切な業務執行、服務規律の確保、区民への説明責任ができていている職員の割合80%以上	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況		課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須	
	【取組実績】 内部統制連絡会議や服務規律確保推進委員会を踏まえ、個人情報保護や職員の不祥事根絶、適正文書管理等に取り組んだ。 【目標達成状況】 適切な業務執行、服務規律の確保、区民への説明責任ができていていると考えている職員の割合 90%	①	—	
	①:目標達成 ②目標未達成			

取組項目6

【効率的な業務執行体制の構築】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) スリムで効率的な業務執行体制の構築を図る。 (取組の概要) 業務執行体制の見直し (目標) 効率的な業務体制の確保		当年度の取組内容 (取組の内容) 窓口業務の集約化や担当制導入による柔軟な業務執行体制の確保 (目標) 適正な職員配置	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況			課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	【取組実績】 29年度に向け、既存事業の見直し・廃止・移管を行い、業務量に見合った適正な人員配置を検討した。 【目標達成状況】 「29年度に向けた人員マネジメント」に基づく級別職員構成の見直しを行い、係長級ポストの係員化を図った。また、マイナンバー関係業務で事務量が増えた窓口サービス課に事業担当主事補を配置するなど適正な職員配置を行った。			① —

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目7

【超過勤務手当の抑制】

計画	取組の方針・目標内容 (趣旨・目的) 効率的な業務執行を通じて時間外勤務を縮減する。 (取組の概要) 超過勤務手当の抑制 (目標) 毎年度前年度実績減		当年度の取組内容 (取組の内容) ・管理職に対して、執行計画に基づいて計画的に超過勤務命令を行うよう徹底 ・超過勤務の命令にあたって、超過勤務を要する業務内容・時間の精査等日常的な管理の徹底 ・定期的かつ恒常的に発生する時間外業務を行う場合の勤務時間割振り変更の継続・拡充 (目標) 平成27年度より減	

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況			課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	【取組実績】 超過勤務実績 27年度実績:15,057時間 28年度実績:13,446時間(▲1,611時間) 地域活動協議会など夜間等に地域の会合に出席することが多い市民協働課において、勤務時間の割振り変更を実施した。 【目標達成状況】 27年度実績からの大幅減をめざして取り組んだ結果、1,611時間減(10.7%減)を達成した。			① —

①:目標達成 ②:目標未達成

取組項目8

【生活保護制度の適正な運営】

計画	取組の方針・目標内容	当年度の取組内容
	(趣旨・目的) 生活保護制度の適正な運営をはかる。 (取組の概要) 真に困窮する方に適正な保護を実施するため、不正受給を徹底して排除するなど、適正化を推進する。 (目標) 毎年度実施	(取組の内容) 専任の本務職員及び警察OB、職員OBからなる適正化担当チームが、局の適正化推進チームや警察等関係機関と連携し、不正が疑われるものの確固たる証拠がつかめなかったケース等に対し引き続き重点的な調査を行い、不正受給の排除及び防止に努める。 (目標) 随時実施

中間振り返り	取組内容の実施見込み	(i)	(i)実施見込み (ii)実施できない見込み	課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	目標の達成見込み	①	①:達成見込み ②:達成できない見込み	—

自己評価	当年度の取組実績及び目標の達成状況			課題と改善策 ※左記が「②」の場合は必須
	【取組実績】 不正が疑われるものの確固たる証拠がつかめなかったケース等の調査件数 24件 うち、不正受給による生活保護の停廃止件数 1件 生活指導 11件 調査中 12件	①		—
①:目標達成 ②:目標未達成				